

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -5

5-  
-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地場産業の活性化
	節	. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	5 佐渡特産品の高付加価値化		事業主体	佐渡市農業政策課
	事業実施期間	H28 ~ H34		関連団体
事業概要	【事業目的】 世界遺産ブランドを活用した地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。			
	【事業内容】 地場産品に世界遺産ブランドのイメージを付加することで商品価値を高めるとともに、佐渡金銀山のPRと連動した販売促進等により、地場産業の振興を図る。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 世界農業遺産の価値を高めるためのブランド戦略を進め、世界農業遺産ブランドマークの策定を進める。			
	【29年度実績】 世界農業遺産の価値向上が地元特産品の高付加価値化、地場産業の活性化、世界遺産のイメージ向上につながることから、世界農業遺産オリジナルブランドマークを公募し、平成30年3月末までに策定した。			
課題・今後の取組	【課題】 世界農業遺産のブランド力を島内外で高めるため策定した佐渡オリジナルブランドマークについて、農林水産物や食品以外にも活用の幅を広げることで、マーク自体の価値を高める必要がある。			
	【今後の取組】 佐渡オリジナルブランドマークを付した農林水産物、食品などの販売を差別化し、世界農業遺産の価値をアピールし、佐渡金銀山の認知度向上につなげる。			
事業評価	【事業の達成度】 ( a (b) c )			
	【事業実施の効果】 ( a (b) c )			
	【総合評価】 ( A (B) C )			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。